上申書 ver.1（匿名化）

事件番号：〇〇号
提出者：〇〇（署名：___________）

第１　上申の趣旨

本件訴訟手続きの進行にあたり、当事者の負担軽減および訴訟経済の観点から、書面提出や問い合わせ手段における柔軟なデジタル運用の導入を強く要望します。

第２　上申の理由

1. 民事訴訟法改正の趣旨との整合性
 令和４年改正民事訴訟法に基づき、司法のIT化は喫緊の課題とされています。現行の郵送・FAX主体の運用は、同法の目指す「迅速かつ効率的な裁判手続き」に逆行するものです。
2. 当事者に生じている具体的な不利益
 ① 物理的・経済的障壁（訴訟費用の不当な増大）
 減縮申立書等の提出において、書面作成、押印、およびFAX送信を余儀なくされ、さらに相手方への送達を含めると、郵送料・通信料の累計額は当事者にとって無視できない経済的負担となっています。これは、「裁判を受ける権利」を実質的に制約する物理的障壁と言わざるを得ません。
 ② 情報伝達の遅延
 郵送・FAXによるタイムラグは、争点の速やかな整理を妨げ、結果として審理期間の長期化を招いています。
3. 改善への具体的要望
 ① 事務的な問い合わせ、および判決に直接影響しない連絡事項についての電子メール活用の許可。
 ② 提出書面のPDFデータ等による電子的受理の先行実施。

第３　結語

以上の通り、現行の運用を改めて見直し、IT化の趣旨に則った柔軟な対応を強く求める次第です。

署名：___________
日付：〇〇年〇〇月〇〇日

余談ですが、裁判官の皆様は高度な試験を突破された方々です。そのご経験からすれば、ハンコ文化の見直しや手続きのデジタル化も、決して不可能ではないと存じます。

上申書 ver.2（匿名化）

件名：裁判手続きにおける現状の物理的・経済的負担とデジタル化の推進に関する上申書
提出者：〇〇（原告）
事件番号：〇〇号

第１　上申の趣旨

2026年5月の民事訴訟法改正により電子提出やWeb審理が義務化される予定ですが、現行の紙・FAX・郵送中心の運用は、当事者に不必要な物理的・経済的負担を課しており、裁判の迅速かつ効率的な進行を妨げています。
この上申書は、現状の非効率性・負担を具体的に示すために提出するものです。

第２　現状の課題と当事者への影響

1. 物理的・経済的障壁（訴訟費用の増大）
　減縮申立書や答弁書の提出において、書面作成、押印、およびFAX送信が必要でした。また、相手方への送達も含めると、当事者にとって無視できない経済的負担となっています。これは、裁判を受ける権利を行使する上での実質的な物理的障壁です。
2. 情報伝達の遅延
　紙・FAXでのやり取りは、郵送の往復やFAX送信の確認に数日を要することがあり、争点の整理や審理の迅速な進行を妨げる可能性があります。
3. ヒューマンエラーのリスク
　紙・FAXによるやり取りは、文字の掠れ、通信エラー、誤送信など、デジタル提出に比べて正確性に欠けるリスクがあります。
4. 公益性の視点
　このような運用は、原告のみならず被告側にも負担を強いるものであり、訴訟全体の効率性を低下させています。

第３　改善への具体的要望

1. 事務的な問い合わせや判決に直接影響しない連絡事項について、電子メールでの連絡を許可してください。
2. 提出書面について、PDFなどの電子データでの受理を柔軟に認めてください。
3. 物理的・経済的負担が生じる現状の手続きを見直し、デジタル化の趣旨に沿った運用を進めることを強く要望します。

結語

以上の通り、現行の運用は現代の通信環境や裁判の効率性に照らして合理性を欠いています。
2026年5月の電子化施行を前に、当事者の負担軽減および訴訟経済の観点から、柔軟な対応を強く求める次第です。

上申書 ver.3（匿名化）

日付：〇〇年〇〇月〇〇日
提出先：〇〇裁判所／〇〇裁判官様

私は、過去の裁判において、以下のような状況がありました。今後の審理や配慮の参考として記録いたします。

経緯・体験

- 審理中、私には多く質問が飛んでくるように感じました。
- 私が答弁書の内容について指摘した際、1回「どこ？」と確認され、指摘箇所を示すと長く書面を眺める時間がありました。
- その後、次の指摘をしようとしたときに「待って！」と言われ、別の話題に移ったように感じることがありました。

影響

- このような経験により、自分の意見や立場を十分に反映させることが難しいと感じました。
- 審理の進行や判断に影響する可能性があると考えています。

背景（希望に応じて）

- 私は個人の健康情報を保有しており、申請中です。現在無職です。
- このため、発言や意見を正確に伝えるためには、審理や面談の場で合理的配慮があると助かります。

求める配慮（将来への参考）

- 発言や指摘を一度に十分確認できるように配慮していただくこと
- 意見が途中で無視されることがないよう、順序立てて取り扱っていただくこと
- 質問が偏らず、全員が公平に意見を述べられる環境を整えていただくこと

以上の内容を、今後の審理や支援の場で参考にしていただけますと幸いです。

署名：____________
氏名：〇〇